

授業科目名	時事問題Ⅱ(経済)	開講年次	2年次以上	単位数	1
サブタイトル	経済系科目の最重要分野対策・時事編	担当者	小川 竜明		
講義概要	<p>【概要】公務員への志は誰にも負けず、試験に合格するためなら労力は惜しまないという覚悟はあるが、今日まで公務員採用試験の経済系科目の勉強をほとんど(全く)しておらず、何から手を着けたら良いのか分からないという学生を対象に、本講座では公務員採用試験で繰り返し出題されている「財政」と「金融」を学習する(国家公務員および地方公務員の行政職採用試験はもちろん、警察官・消防官採用試験でも出題頻度が極めて高い分野である)。</p> <p>公務員試験の経済系科目は、用語が難解であることなどを理由に学習を敬遠する者が多い。言い換えると、経済系科目で得点を稼げるようになれば、ライバルに差をつけることができ、合格に一歩近づく。</p> <p>講義では、過去に出題されたものを一問一答の正誤判定形式に改めるなどして、問題文のどこを刮目すれば良いのか掌握しやすいように工夫を施した担当者オリジナルの教材を配布し、それにしたがって進めていく。なお、同じく出題頻度の高い「GDP」や「経済史」、「経済学史」、「国際経済」については、『公安社会科学(経済)』で扱う。</p> <p>【到達目標】「過去問の問題文を読んでも、何を言っているのかさっぱり分からない」状態から脱し、難解な経済用語に惑わされることなく正誤判定ができる「本物」の学力を身につけること。</p>				
履修条件	真剣に、公務員採用試験合格を目指す者。必ず、第1回目の講義に出席すること。				
教科書・参考書	<p>【教科書】教科書は指定しない。当方でレジュメ(教材)を用意し、それにしたがって、講義を進める。</p> <p>【参考書】花岡幸子『経済用語図鑑』(WAVE 出版)、『ニュースがわかる基礎用語』(清水書院)</p>				
授業回数	授業内容				
1	オリエンテーション、学力診断試験、【財政(1)】財政の機能(資源配分機能、所得再分配機能、景気調整機能)				
2	【財政(2)】予算(1)― 予算原則、本予算(当初予算)、暫定予算、補正予算				
3	【財政(3)】予算(2)― 一般会計予算、特別会計予算、政府関係機関予算、財政投融资				
4	【財政(4)】租税				
5	【財政(5)】公債				
6	【財政(6)】地方財政				
7	中間試験、解説				
8	【金融(1)】企業等の資金調達(自己金融方式、直接金融と間接金融)				
9	【金融(2)】金融機関と金融市場				
10	【金融(3)】中央銀行				
11	【金融(4)】貨幣の機能と貨幣需要				
12	【金融(5)】貨幣供給				
13	【金融(6)】金融政策				
14	【財政&金融】時事対策				
15	期末試験、解説				
評価方法	中間試験、期末試験(いずれも、教科書やノート等の持込不可)の成績のみで判定する。				
評価基準	中間試験(50点満点)と期末試験(50点満点)の合計が70点以上。				
その他	<p>経済系科目は、他の科目以上に、高い学習意欲と強い忍耐力が求められる。以下の点に留意されたい。</p> <p>○真摯に講義を受ける学生の志気を下げようとする行為(教室中に響く溜め息、大あくび、居眠り、私語、電子機器の使用等)を行った者には退室を命じるなど、厳正に対処する。</p> <p>○1回でも欠席や遅刻をすると、その回の学習内容が抜け落ちて、それ以降の学習内容を理解するのが非常に困難になる。要望があればそれを極力講義に反映させるとともに、受講者の理解度を考慮しながら進めていくので、講義への積極的な参加を願う。なお、受講者の理解度を考慮しながら進めていく過程で、上の授業内容は変更する場合がある。</p>				